

【小学館・新刊のご案内】

現役内科医が明かす“医師と製薬会社の不都合な真実”——

# 「製薬会社からの接待弁当で 処方する薬は決められる！」

## 『知ってはいけない薬のカラクリ』

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

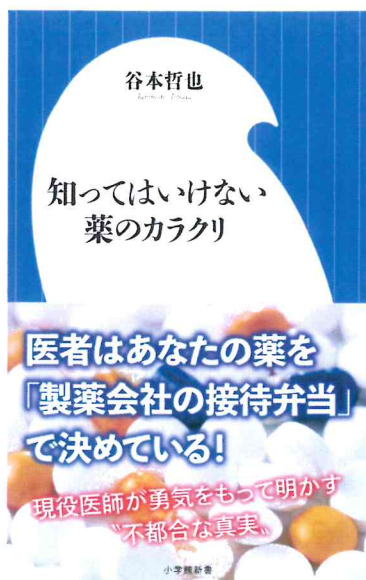
この度、科学誌『ネイチャー』や医学誌『LANCET』『ニューイングランド医学誌』で論文執筆活動しながら日々の臨床も行っている内科医・谷本哲也氏が新刊『知ってはいけない薬のカラクリ』（小学館新書）を上梓、4月3日より発売となりました。

「あなたのツライ症状にすぐ効く、よく効く」——かぜや花粉症の市販薬のコマーシャルはよく目にするのに、医師が処方する薬のCMがないのはなぜか？

製薬会社は処方薬について、患者向けにCMを打つのではなく、医師向けのPRや説明会を繰り返す。処方薬を決めるのは患者ではなく、医師だからだ。

そしてそこから、医師と製薬会社の癒着関係が発生する。「2000円の接待弁当」「50万円の講演謝礼」など、患者に見えない場所で、多くの医師は製薬会社から金銭を受け取っているのだ——副作用のある薬を飲む前に「薬のカラクリ」の一読を。

ご高覧を賜り、ぜひご紹介の機会をいただければ深甚です。



### ●著者・谷本哲也（たにもと・哲也）

1972年、石川県生まれ。鳥取県育ち。1997年、九州大学医学部卒業。内科医。探査ジャーナリズム NGO・ワセダクロニクルと医療ガバナンス研究所の共同プロジェクトである、マネーデータベース「製薬会社と医師」に参加。診療業務のほか、『ニューイングランド・ジャーナル（NEJM）』や『ランセット』、『米国医師会雑誌（JAMA）』などでの発表にも取り組む。

### ●定価 800円＋税、新書版、224ページ

■本書に関するお問い合わせ（担当編集）  
小学館『週刊ポスト』編集部 千葉 康永  
〒101-8001 千代田区一ツ橋 2-3-1  
TEL：03-3230-5968, 090-5223-2996  
E-mail：y.chiba29@mail.shogakukan.co.jp